

認知症の理解

問題 77 イギリスの心理学者キットウッド(Kitwood, T.)が提唱した、「パーソン・センタード・ケア(person-centred care)」の考え方として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の人の行動・心理症状(BPSD)を無くすこと
- 2 認知症(dementia)の人を特別な存在として保護すること
- 3 認知症(dementia)の人のケアマニュアル(care manual)をつくること
- 4 認知症(dementia)の人の「その人らしさ」を支えること
- 5 認知症(dementia)という病気を治療すること

問題 78 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準「ランクⅢ」の内容として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、
だれ誰かが注意していれば自立できる。
- 2 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。
- 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。
- 4 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
- 5 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。

問題 79 認知症(dementia)と比較した場合のせん妄(delirium)の特徴として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ゆるやかに発症する。
- 2 徐々に進行, 悪化していく。
- 3 覚醒水準かくせいすいじゅんの低下を伴うことは少ない。
- 4 幻覚を伴うことは少ない。
- 5 日内変動を認めることが多い。

問題 80 早期発見で改善が可能な認知症(dementia)として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 正常圧水頭症(normal pressure hydrocephalus)
- 2 クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease)
- 3 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)
- 4 血管性認知症(vascular dementia)
- 5 レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)

問題 81 認知症の行動・心理症状(BPSD)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 親しい人が分からない。
- 2 言葉を口に出すことができない。
- 3 十分に眠ることができない。
- 4 トイレの水を流すことができない。
- 5 数の計算ができない。

問題 82 認知症(dementia)による実行機能障害に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 いつもと違うことがあると混乱して自然な行動ができない。
- 2 計画を立てて段取りをすることができない。
- 3 交通機関の自動改札機をスムーズに通れない。
- 4 2つ以上のことが重なるとうまく処理できない。
- 5 新しいことや大切なことが覚えられない。

問題 83 前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)の人によく見られる症状に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会のルールや常識的な規範が分からなくなる。
- 2 動作が緩慢で動きがぎこちない。
- 3 ちょっとしたことでも泣いたり笑ったりする。
- 4 現実的で具体的な幻視がある。
- 5 料理の手順が分からなくなる。

問題 84 ふりかけをかけたご飯を、「ありがたがっているから食べられない」と訴えるレビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)の人への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 落ち着いて口に入れてみることを勧める。
- 2 「アリはいません、おなかが空くので食べてください」と促す。
- 3 「好きなものがありましたよ」と好物を示して食事を勧める。
- 4 通常のご飯に取り替えて、「もう大丈夫でしょうか」と食事を勧める。
- 5 「おなかが空いていないのなら、無理して食べなくてもいいですよ」と下膳^{げぜん}する。

問題 85 認知症サポーターに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症(dementia)の人やその家族を見守り、支援する。
- 2 10万人を目標に養成されている。
- 3 認知症介護実践者等養成事業の一環である。
- 4 認知症ケア専門の介護福祉職である。
- 5 国が実施主体となって養成講座を行っている。

問題 86 Cさん(83歳、女性)は、昨年、夫を亡くしてから一人暮らしをしている。

ここ半年ほど自宅に閉じこもっていることが多く、他者との交流が減っている。一人息子は、他県で家庭を築いている。以前、夫が利用していた通所介護(デイサービス)事業所に、ある日、Cさんから次のような電話が入った。「物忘れが多くなり、心配になって受診したところ軽度認知障害(mild cognitive impairment)だと言われた。認知症(dementia)で判断ができなくなる前に、いろいろ整理しておきたい。夫も先に逝っていることだし、運命を静かに受け入れようと思う」

電話を受けた介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 心配ないから気にしないように励ます。
- 2 他県に住む息子と同居することを勧める。
- 3 成年後見制度を紹介する。
- 4 居宅介護サービスの利用を勧める。
- 5 地域包括支援センターを紹介する。